

「単独町政」を真剣に考えているのですか

平成17年度 主要施策の概要

「当初予算および主要施策の概要」より抜粋

- 単位：万円（千円以下切り捨て）
- ▶地域リーダー養成研修事業 58
 - ▶地域自治振興補助金 1,748
 - ▶地域自治振興事業委託 230
 - ▶まちづくり研修事業 120
 - ▶せせらぎ夏祭り事業 450
 - ▶農村総合モデル事業 6,080
 - ▶木造家屋耐震補強補助金 50
 - ▶町道新設改良事業 7,729
 - ▶公営住宅建設事業 10,226
 - ▶公営・改良住宅水洗化事業 2,075
 - ▶児童公園グランド改修事業 500

何を削減してるのか

「歳出見直し項目一覧」から抜粋
単位万円(千円以下切り捨て)

- ▶町長人件費：削減 110
- ▶教育長人件費：削減 88
- ▶長寿祝い金：単価見直し 275
- ▶せせらぎ直販所販売員設置：削減 27
- ▶ヘルパー研修：廃止 46
- ▶少人数加配教員：削減 417

甲良民報

2005年3月6日 No278
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土 463
Tel.Fax38-4949
Eメール info@jcp-nobuaki.com
のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

自主的なもの」
などと答弁。教
育長の非常勤
化を提案する
議員もありま
した。

提案された 特別職給与 削減の概要

- ▶町長給与 71万円 639千円
- ▶助役給与 60万円 54万円
- ▶収入役給与 57万円 513千円
- ▶教育長 57万円 513千円

甲良町婦人会が解散の 可能性わかる

4日の予算研究会で教育委員会の担当課長は補助金に関連し、町婦人会がこのほど全会員対象にアンケートを取り、その結果、8字が町から脱退、4字が残るが、近く解散の方向、と報告。ここでも女性が行政の「お仕着せ活動」をはねのける知恵を發揮した模様です。

西澤議員は、教育委員会が「レディース」の感想文の干渉を行うなど、同和研修や行事を押し付け、女性の自主性をこわしてきたことの当然の帰結、と指摘。根本的な反省を求めました。

さらに、西澤議員は、各地で合併推進を掲げたものの、失敗し、町長の辞職や給与を5割カットした岩手県藤沢町の報道を示し(下段)、削減効果の少ないことを追求。山本町長は「身の処し方は自主的なもの」などと答弁。教育長の非常勤化を提案する議員もありました。

西澤議員は3日、予算案が提案された本会議で「合併不成立を受け『自立・単独』に向けたハードルを本当に、真剣になって町民と共に乗り越えようとしているか」と問いかけ、4つの角度を提起。前年度と比べ15%減額の中、町長教育長給与10%減で財政難克服のメッセージになるのか。職員提案を公表すべきなど。課税漏れ、町有地売却、占有地の地代収入の見直しを立てたか。弱者・生活者へ温かい対策を立てたか。同和対策・同和教育、関連事業費用をゼロベースで見直したのか、と予算の基本方針をたどりました。

「財政難」「甲良町単独は困難」などと表明していた山本町長が、合併破談後、どんな予算を提案をするか注目されていました。しかし、特別職給与の引き下げは10%のカット。ボーナスは20%カットを維持するものの、町長の年収は約960万円。特別職退職手当組合負担金が約255万円。町長の任期終了時に支払われるもので、17年分年収は実質約1300万円となる予定。

町長給与10%削減で 町民へのメッセージのなるのか

3日から始まった議会で、平成17年度予算案などの審議が始まりました。3日全議員協議会での議案・予算・主要事業の概要の説明。4日には一般会計と特別会計の予算研究会が開かれました。前号の再録を含め、あらましを報告します。

「合併失敗、町長の給料半額カットで係長並みに」

読売新聞 On-Line 2月17日報道の抜粋・要約

岩手県藤沢町は新年度から佐藤守町長の給料を50%削減する条例改正案を3月議会に提出する。周辺市町村との合併から外れ、単独での生き残りをかけ、提案では町長の給料は月額3万4千600円、年収約420万円、部下の係長並みになる。ボーナスは2003年度から全額カットしている。町長以外にも、特別職の助役や教育長、正副議長らの給料・報酬を最大20%削減する。さらに2人の助役を1人に減らし、2003年度からの一般職員のボーナス一部削減も継続するなどして、年間1億9000万円を節減する予定。町の一般会計は68億円(2003年度決算)だが、国営農地開発などに巨費を投じた結果、第3セクターの肩代わり返済分を含め、約200億円の債務を抱えるようになった。一関市などとの合併に活路を見いだそうとしたが、財政状況の悪化を指摘されるなどして、事実上枠組みから排除された。(読売新聞) - 2月17日 14時34分更新